

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。※ [] 内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

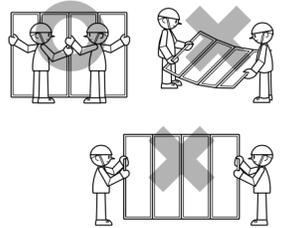
▲注意

1.下記項目は、出窓の前倒れにより障子が脱落する原因になるおそれがありますのでご注意ください。

- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - 窓台と間柱は、間柱補強板で補強してください。
 - 下枠補強材と開口部との間に透き間のないよう固定してください。
 - 屋根は必ず奥まで差し込んでください。
- 2.本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大95kg(屋根を含めると110kg)になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬけがをするおそれがあります。
- 3.下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。
- 躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - 外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - 外壁は44mm以下に仕上げてください。
 - 出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
 - 縦枠フィンと屋根背板の境目に防水シールを張ってください。

■施工上のお願

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠け等の原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



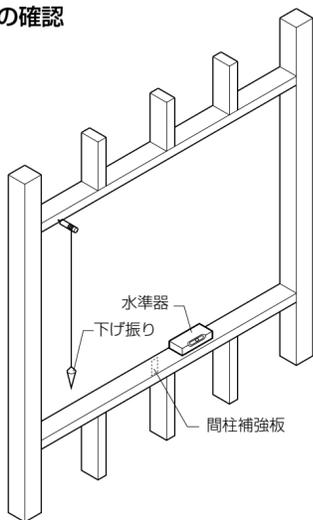
■取付け部品一覧表

番号	①	②	③	④	⑤	⑥
名称	φ3.5×32皿木ねじ	φ4.1×63丸木ねじ	φ4×30ナベタッピンねじ	φ2.4×38スクルー釘	φ3.1×20皿木ねじ	φ3.1×20皿木ねじ
姿図						
使用箇所	縦枠(室外側) - 躯体	補強ブラケット - 躯体	水切り - 躯体 補強ブラケット - 躯体	屋根 - 躯体	上枠 - 屋根 天板見切り縁 - 屋根	縦枠(室内側) - 額縁 天板見切り縁 - 額縁 下枠 - デッキル板
袋表示	取付用1					
番号	⑦	⑧	⑨			
名称	間柱補強板セット 間柱補強板		防水シール			
姿図						
使用箇所	窓台 - 間柱		屋根 - 縦枠フィン			
袋表示	間柱補強板セット		-			

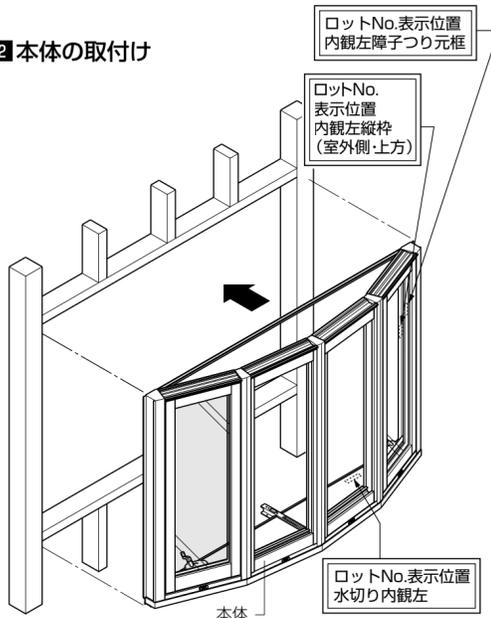
※左表の番号は本文図中の番号を示します。間違いのないよう使用してください。
※⑨の部品は、屋根に同梱されています。

■取付け順序

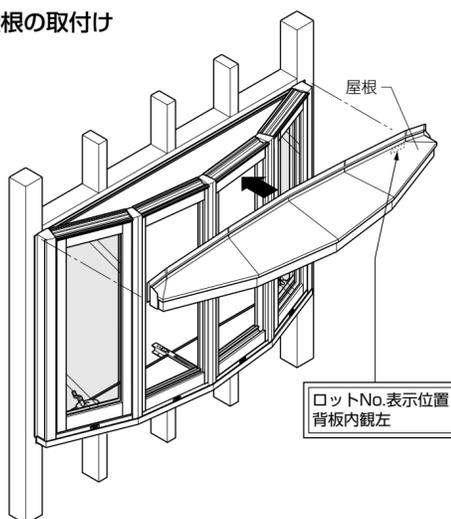
1 開口部の確認



2 本体の取付け



3 屋根の取付け



■取付け詳細

※図中の番号は、取付け部品一覧表の番号を示します。間違いのないよう使用してください。

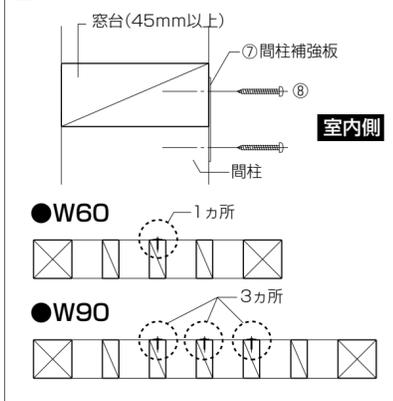
1 開口部の確認

- ① 水平・垂直を正しく出します。
- ② 間柱補強板を間柱と窓台(室内側)へ取り付けます。(A部詳細図)
- 内装材を直張りする場合は、窓台・間柱を掘り込んで間柱補強板を取り付けてください。

▲注意

- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 窓台と間柱は、間柱補強板で補強してください。

■A部詳細図



2 3 本体・屋根の取付け

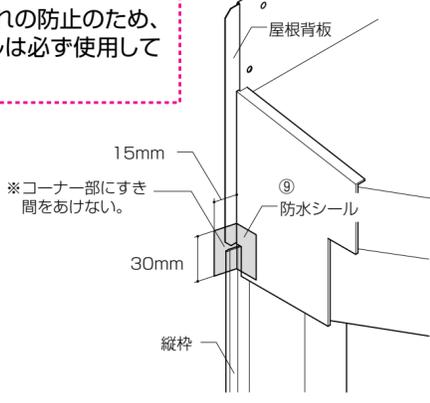
- ① 本体を開口部に差し込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
- ② 屋根を本体に差し込み、躯体に固定します。

1) 縦枠フィンと屋根背板の境目に⑨防水シールを張ります。【図1】
※コーナー部にすき間ができないように十分押し付けて張ってください。

【図1】

▲注意

- 漏水・雨もれの防止のため、防水シールは必ず使用してください。



▲注意

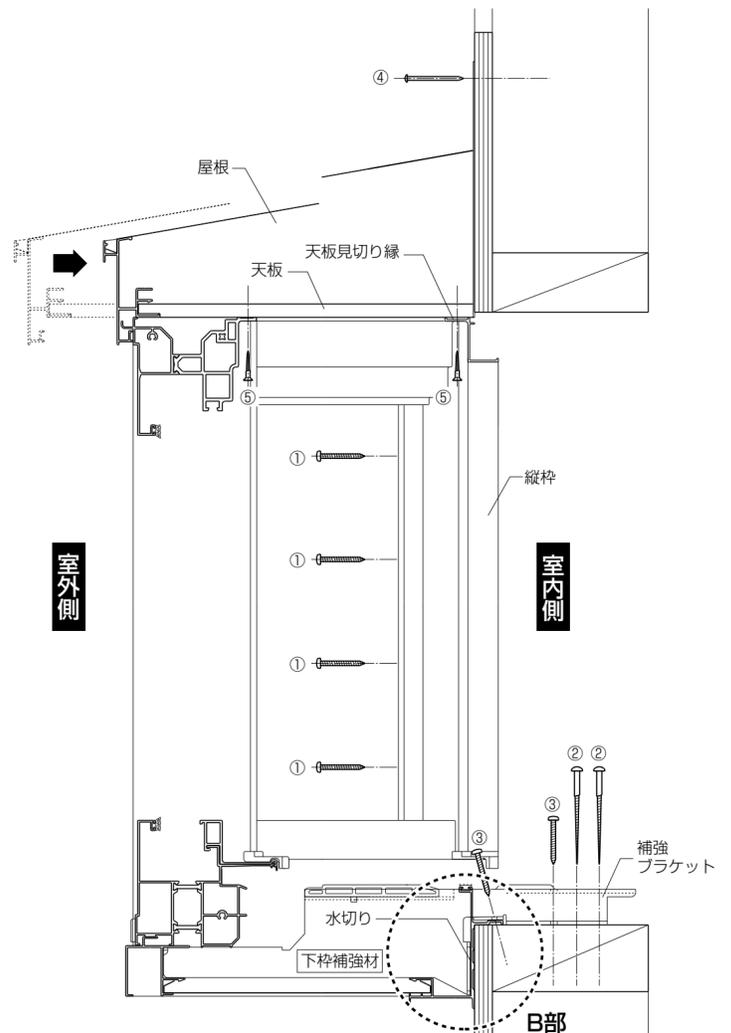
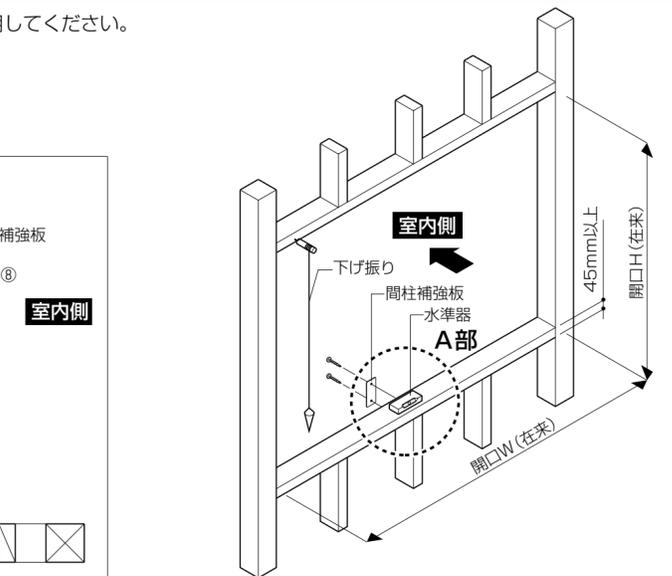
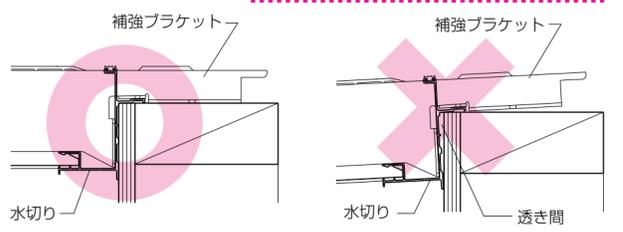
- 屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

- ③ 上枠と屋根を固定します。
- ④ 天板見切り縁と屋根を固定します。

■B部詳細図

▲注意

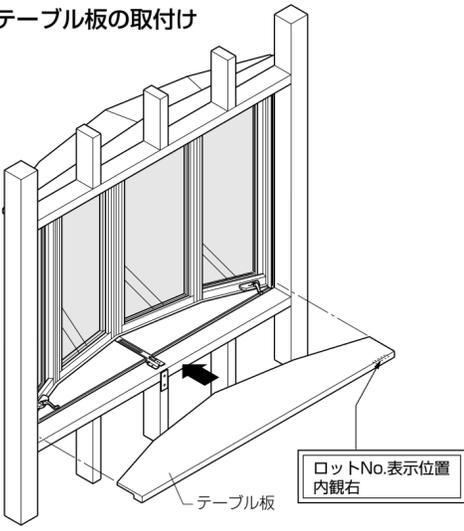
- 透き間なく必ず押し込んでからねじ止めしてください。



■取付け順序

4 FIXガラスの建込み

5 テーブル板の取付け



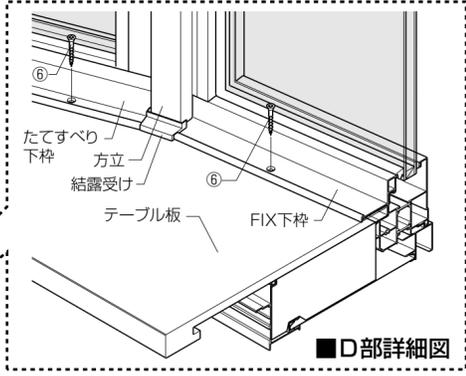
ロットNo.表示位置
内観右

6 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

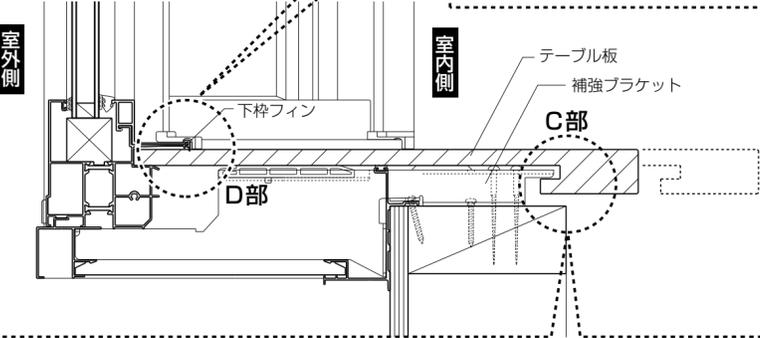
7 障子の開閉確認

5 テーブル板の取付け

●下枠フィン・補強ブラケットに、テーブル板の両端を上から押さえながら差し込んでねじ止めします。

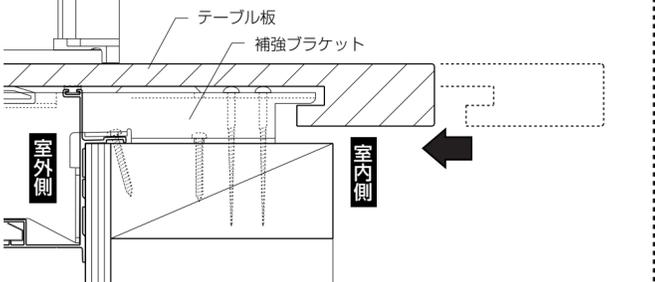


■D部詳細図



■C部詳細図

※テーブル板は補強ブラケットに確実に引っ掛けてください。



7 障子の開閉確認

① オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。サブロックが障子縦枠のサブロック受け

② けクレセントに引っかかるかどうか確認します。

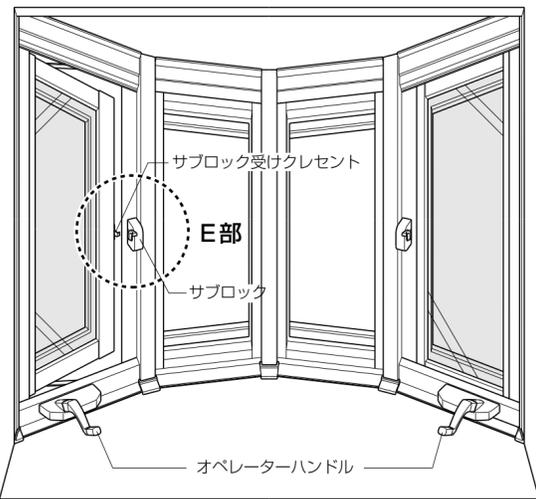
※引っかからない場合は、下記の要領で調整してください。

〔上下前後方向〕

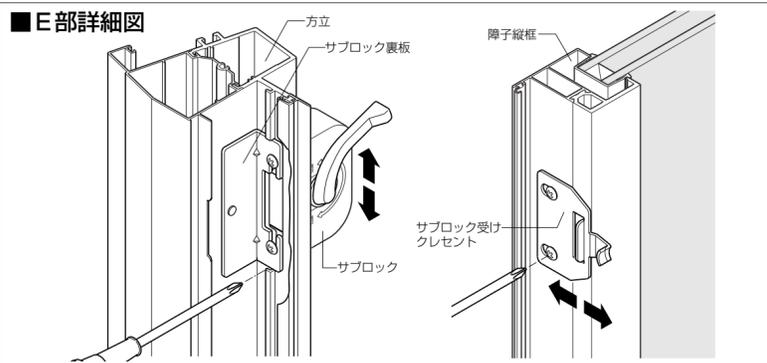
●サブロックのねじをゆるめて調整します。

〔障子見込み方向〕

●サブロック受けクレセントのねじをゆるめて調整します。



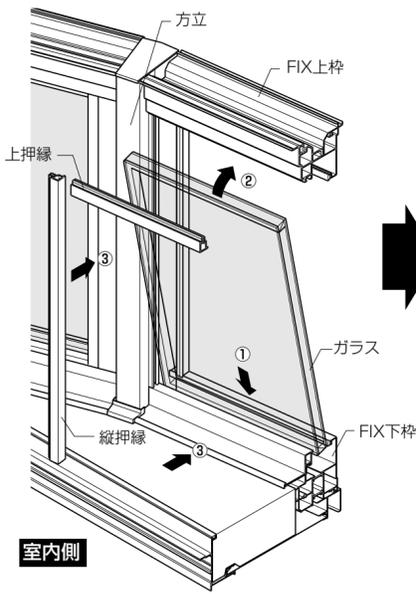
■E部詳細図



■取付け詳細

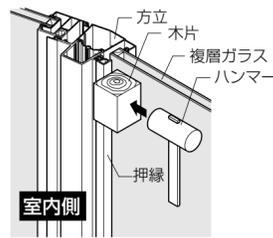
4 FIXガラスの建込み

① FIX下枠→FIX上枠の順に、ガラスを室内側からはめ込みます。



室内側

② 縦押縁・上押縁の順で押縁に木片を当て、ハンマーで端部よりたたき込みます。



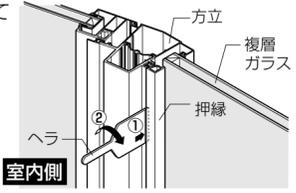
室内側

■お願い

●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

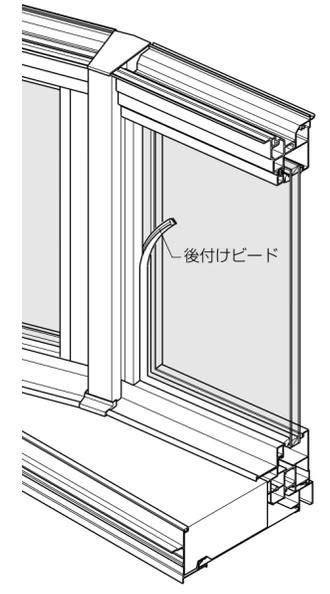
■FIX部ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁と上枠・方立の間に下図のようなヘラを突き当たるまで差し込み、ねじるようにして押縁を外してください。



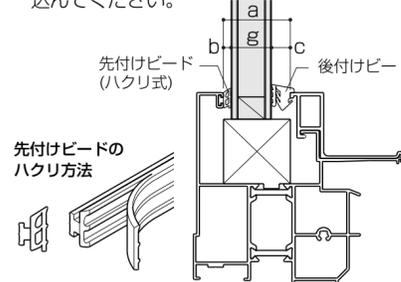
室内側

③ 後付けビードをまわします。



■FIX部ガラスビードの使用区分

※後付けビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の4方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



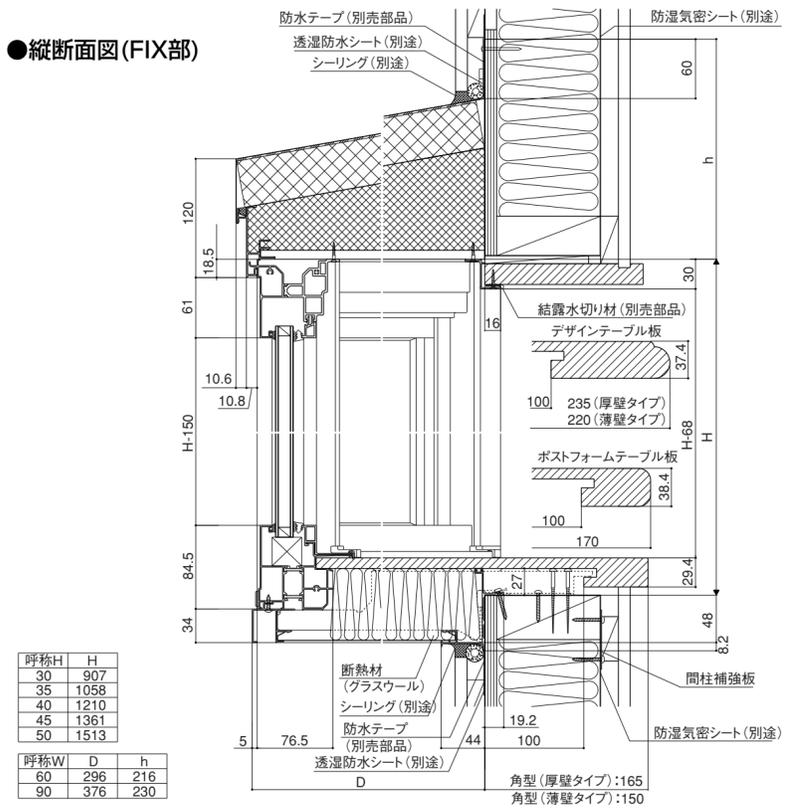
先付けビードのハクリ方法

●PG(複層ガラス) / a=30

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売)
18	3-12-3	4	8
19	3-12-4	4	7
20	3-12-5 4-12-4	4	6
21	4-12-5	3(ハクリ)	6
22	3-12-6.8 5-12-5	4	4
23	4-12-6.8	4	3
24	5-12-6.8	3(ハクリ)	3

■参考納まり図

●縦断面図(FIX部)



呼称H	H
30	907
35	1058
40	1210
45	1361
50	1513

呼称W	D	h
60	296	216
90	376	230

●横断面図

